



2023年7月14日

各 位

本店所在地 京都市下京区烏丸通五条下る大坂町382-1
 会社名 株式会社 京 進
 代表者の役職氏名 代表取締役社長 立木 康之
 (コード番号 4735 東証スタンダード)
 連絡者役職氏名 常務取締役兼管理本部長 松本 敏照
 電 話 (075) 365-1500

2023年5月期 業績予想と実績との差異及び剰余金配当に関するお知らせ

2023年5月期(2022年6月1日～2023年5月31日)の業績予想値と本日公表の実績値に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 業績予想値(2023年1月12日公表)と実績値との差異

(1) 2023年5月期 連結業績(2022年6月1日～2023年5月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	25,500	268	468	142	18.24
実績(B)	25,420	470	430	△55	△7.08
増減額(B-A)	△79	202	△37	△197	
増減率(%)	△0.3	75.7	△8.0	—	
(ご参考)前期連結実績 (2022年5月期)	23,868	380	365	△7	△0.93

(2) 2023年5月期 個別業績(2022年6月1日～2023年5月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想※(A)	13,144	203	498	217	27.87
実績(B)	12,899	△56	△1	△188	△24.17
増減額(B-A)	△244	△259	△499	△405	
増減率(%)	△1.9	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (2022年5月期)	12,799	349	611	385	49.46

(2) 決算差異の理由

当連結会計年度より、従来「営業外収益」の補助金収入に含めて表示していた、保育事業に関わる補助金収入を、「売上高」として表示する方法に変更しております。

この変更は、園舎の家賃支援や、保育士の処遇改善等のための補助金が、保育事業の長期安定的な運営を確保し、児童福祉の増進を目的として交付される点において、「売上高」として表示する運営委託収入と共通するものであり、実態をより適切に表示するために変更を行ったものであります。

この表示方法の変更により、「営業外収益」の「補助金収入」に含まれていた 346 百万円を、「売上高」に組替えており、営業利益は 470 百万円となりました。

同様に、前連結会計年度の「営業外収益」215 百万円を、「売上高」に組替えております。

また、連結業績におきましては、株式会社リッチ、株式会社ヒューマンライフの固定資産およびのれん等の減損処理 277 百万円を計上し、個別業績におきましては、株式会社ヒューマンライフに対する貸倒引当金繰入額 214 百万円を計上いたしました。これらの費用は税務上損金不算入となるものの、株式会社ヒューマンライフの事業廃止が翌期以降となり、当期の税金費用が予想を上回ったことから、親会社株主に帰属する当期純利益は前回発表時の予想を下回る結果となりました。

さらに、個別業績におきまして、営業利益が予想と乖離した理由としましては、子会社より経理、労務など人員を親会社に出向させるなど本部体制の強化に向けた組織再編により業務の集約化を図りました。それにより、本社の人件費が増加しております。また、子会社に対する貸倒引当金繰入の計上により、経常利益、当期純利益において差異が発生いたしました。

上記に加え、決算処理を行うにあたり、PwC 京都監査法人より賞与引当金の算定期間が実態に即していないとの指摘をいただきました。今回、計算方法の見直しに当たり、PwC 京都監査法人と協議させていただいた結果、賞与引当金 78 百万円（税効果考慮後 54 百万円）を 2023 年 5 月期の決算にて追加で折り込むことといたしました。その決定ならびに再計算に時間を要したことから決算を遅らせていただく運びとなりました。

中期方針である収益性の向上に向け、赤字となっている子会社の利益改善は進んできており、引き続き、注力していく所存です。

3. 剰余金配当

(1) 配当の内容

	決定額	直近の配当予想 (2023年1月12日公表)	前期実績 (2022年5月期)
基準日	2023年5月31日	同左	2022年5月31日
1株当たり配当金	5.47円	同左	7.54円
配当金総額	42百万円	—	58百万円
効力発生日	2023年8月25日	—	2022年8月26日
配当原資	利益剰余金	—	利益剰余金

(2) 剰余金配当の理由

当社は、企業価値の継続的向上を図るとともに、株主の皆様に対する利益還元を経営上の重要課題の一つとして位置付け、連結業績における配当性向 30%を目標として安定的な配当水準の確保に努めております。

2023年5月期業績の予想との乖離は、上記のとおり、利益体質改善に向けた子会社に対する貸倒引当金繰入額の計上、子会社の固定資産およびのれん等の減損処理に伴う、税務上の認容の時期が遅れたことや、賞与引当金の処理方法の見直し等の一時的な原因によるものです。

連結営業利益、連結経常利益は前年から改善しており、特殊要因による当期純損失の計上であることから、株主の皆様にも利益還元を行うべきとの方針により、公表しておりました配当予想のとおり、1株につき5.47円とさせていただきます。

(参考) 年間配当の内訳

基準日	1株あたり配当金		
	第2四半期末	期末	合計
当期実績	0.00円	5.47円	5.47円
前期実績	0.00円	7.54円	7.54円

以上